

【新】しが環境教育リーディング事業 (H24～H26)

資 - 教委 1

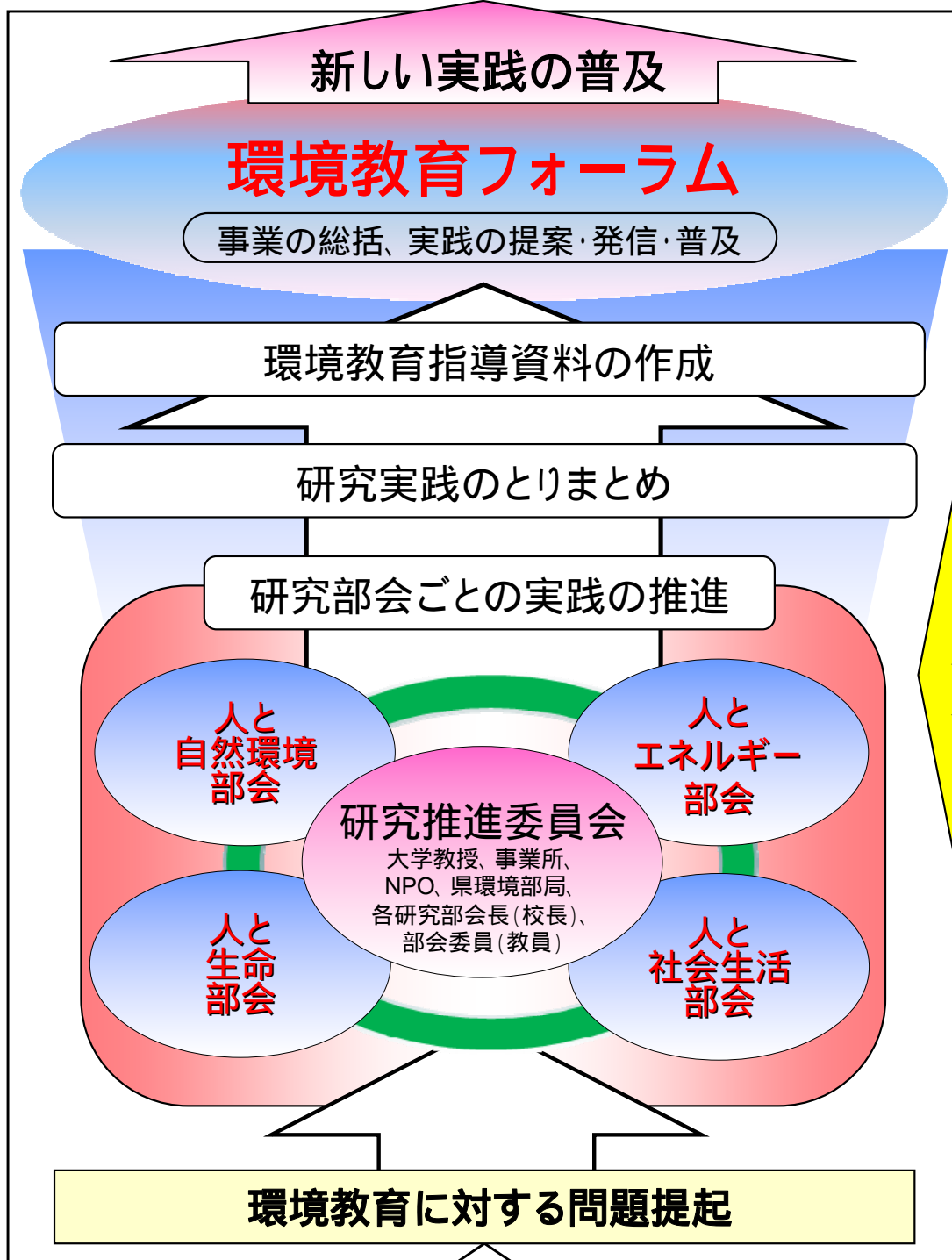
学校教育課
内線4574

人と環境とのよりよい関係を総合的にとらえる環境教育へと推進していく

平成
26
年度

平成
25
年度

平成
24
年度



県環境部局

県教育委員会

市町教育委員会

県教育研究会
環境教育
部会

大学

事業所

NPO

連携



滋賀県環境学習推進計画(第2次)
(平成23年3月 滋賀県)

今後の環境教育・普及啓発の在り方を考える検討チーム
報告書 (平成23年7月 環境省)

【現状】 自然環境の保全活動が中心で、自ら考え、実際の生活に活かし、行動する点で弱さが見られる。

【課題】 東日本大震災を機に、持続可能な滋賀社会の実現に向けた環境教育のあり方を示す必要がある。

環境美化の日の取組
系統的な自然体験の取組

環境美化活動
水環境学習

環境問題学習
生物調査活動

環境教育モデル校
(H8～H23 16年目)



キャリア教育・職業教育の推進

【予算額 14,502千円】

中学生チャレンジウィーク事業 509千円

子どもたちの勤労観・職業観を育み、自らの将来の生き方を見出していく力を養うため、県内の事業所において中学2年生における5日間の職場体験を全ての公立中学校で実施する。

- ・ 中学2年生（約14,000人）を対象とし、連続した5日間以上の職場体験を実施
- ・ 毎年のべ約4,000の事業所が受入に協力
- ・ 全ての公立中学校（100校）による事前事後学習の充実、受入事業所との連携、保護者や地域への情報発信
- ・ 市町による各学校の受入先事業所の確保、日程の調整
- ・ 県によるリーフレット作成、年3回の支援会議開催、Webサイトによる広報活動

職の担い手育成事業 3,000千円

「職の担い手育成推進校」を指定し、地域産業と高校との連携により、インターンシップ等の就業体験や技能講習などの実践的な体験学習を実施する。

- ・ 工業高校3校、農業高校3校、商業高校2校の他、総合学科の高校1校の計9校を指定。
- ・ 各学校に、学校の教職員、地域の企業関係者等で構成する「職の担い手コーディネート委員会」を設置。
- ・ 県教育委員会、各学校、関係団体や企業等で構成する「職の担い手連絡協議会」を設置。
- ・ インターンシップ等の就業体験や技能講習などの実践的な体験学習を実施。
- ・ 勤労観・職業観の涵養を図り、将来を見通して進路選択ができるような生徒の育成に取り組む。

普通科における キャリア教育推進事業 4,853千円

普通科高等学校におけるキャリア教育を推進するため、外部講師の積極的な活用を図り、学習内容の充実に努める。

就業体験実施校を指定し、生徒が自己を見つめ、生き方を考える機会を豊かにするとともに、その成果の普及に努める。

- キャリア教育外部講師活用事業
- ・ 普通科高校で外部講師を活用する。各学校が学年ごとに複数の講座を実施。
- 普通科高校における就業体験事業
- ・ 就業体験実施校を指定し、各学校1・2年生30～50名程度を対象に就業体験を実施。

県立特別支援学校就労に向けた 教育充実支援員設置 6,140千円

各企業が障害のある生徒を雇用するにあたって、生徒に求める具体的知識や技術・技能、内容等の調査を行い、就労に向けた教育内容の充実に努め、特別支援学校生徒の就労を促進する。

高等養護学校2校への教育充実支援員の配置

- ・ 配置人数・・・計2名
- ・ 高等部設置の特別支援学校13校を担当（1名あたり6、7校を担当。）
- ・ 業務内容
企業訪問によるニーズ調査



新 近江の神と仏の「美」発信展覧会開催事業

【予算額 8,582 千円】

現状と課題

滋賀県は国宝・重要文化財の指定件数が全国第4位（建造物では全国第3位）であるなど全国トップレベルの文化財を有するが、その魅力が十分に知られていない。



仏教美術等の文化財の展覧会

琵琶湖文化館の収蔵品を中心とした近江の仏教美術等の展覧会を発信力のある東京や静岡で開催する。

- ・三井記念美術館
(H24.9～ 東京・日本橋)
- ・静岡市美術館
(H25.1～)



滋賀の美の魅力を一体的に発信

相乗効果

県外の博物館との連携・協力

滋賀の風土等を紹介する写真パネル展

展覧会の関連事業として、会期中に、展覧会と一体として滋賀の奥深い魅力をPRする写真パネル展を開催する。

滋賀を訪れることで出会うことができる仏教美術等や暮らしのみえる風景などを紹介する。



事業の効果

近江の仏教美術等の文化財とともに、それらを取り巻く暮らしや風土等の魅力を一体的に発信し、認知度アップや観光誘客を図る。

滋賀の文化の奥深さや素晴らしさを県外に広く知ってもらうことで、県民の誇りにつなげる。